

自治体通信

JICHITAI TSUSHIN

OCTOBER 2021 VOL.33

全庁で生じていた郵便物の集計は
いまや職員1人の短時間作業に
郵便物の集計作業を自動化し
関連業務を一挙に省力化できた

サンプル

ケーススタディ 美郷町 (秋田県) / 玉城町 (三重県)

支援企業の視点 郵便物にまつわる多くの業務は、自動化により一挙に改善できる
郵便物集荷の完全廃止に備え、いまこそ集計作業の自動化を

ピツニーボウズジャパン

Sending Technology
ソリューションズ営業本部
東日本営業2部 仙台営業所

佐野 将士氏



Sending Technology
ソリューションズ営業本部
西日本営業部 次長

島津 良明氏



pitney bowes

ピツニーボウズジャパン株式会社
<https://www.pitneybowes.com/jp/>

ピツニーボウズジャパン株式会社
Sending Technology ソリューションズ

〒140-0001
東京都品川区北品川4-7-35
御殿山トラストタワー12F
TEL : 0120-00-9537
FAX : 03-3280-8900

ウェブからのお問い合わせはこちら:

<https://www.pitneybowes.com/jp/smb-inquiry.html>



美郷町が「郵便料金計器」の導入で

得られた3つの効果

- 各部署での集計作業が不要に
- 総務課での関連業務時間が短縮
- 集計ミスがなくなった

各課の職員は、郵便物を数えたり、重量を量ったりする作業がほとんどなくなりました。「郵便料金計器」に通した郵便物には、郵便局に承認を得た印影と郵便料金が印字され、そのまま郵便局員に手渡せるためです。これにより各課の担当者は、基本的には郵便物をそのまま総務課にもち込むだけで済むようになったのです。

集計ミスの心配がなく 職員の精神的負担も軽減

集計作業はすべて総務課に二元

化されたのです。

ええ。しかも、総務課の職員にかかる負担も大きく軽減されました。「郵便料金計器」に通した郵便物は「差出票」の添付が不要になるうえ、当町が導入した機種は、1分間で最高180通のスピードで集計することができます。これにより、総務課での作業時間は30分程度に短縮されたのです。

このほか、手作業と異なり、集計の際にミスを心配しなくてよい。ため、職員の精神的な負担も軽減されました。集計作業の業務負担が減ったことで、会計年度任用職員は別の業務に専念する時間を捻出できるようになっています。

今後の活用方針を聞かせてください。

ピツニーボウズ製の「郵便料金計器」は、郵便物の重量が事前に設定した数値を超えた場合に、集計を自動で停止してくれる機能もあると聞いています。この機能を活用すれば、「郵便区内特別郵便物」制度を適用したい郵便物も、正確に集計できると期待しています。ほかにも、他自治体の活用事例も参考にしながら、一層の業務効率化を図っていききたいですね。



郵便発送業務の効率化

市内業務	
秋田県美郷町	
の取り組み	
規格外	第一種(旧六郷管内) 50gまで 210円
	第一種(旧仙南管内) 150gまで 210円
	第一種(美郷町内) 150gまで 210円
	第一種 250gまで 10枚 250円
	第一種 500gまで 8枚 390円
	第一種 1kgまで 4枚 530円
	第一種 1kgまで 1枚 1,940円
定形外	第一種 2kgまで 1,350円
(通常)規格外	第一種 50gまで 410円
	第一種(通常) 100gまで 430円
	第一種(通常) 150gまで 500円
	第一種(通常) 250gまで 780円
	第一種(通常) 500gまで 970円
	第一種(通常) 1kgまで 1,700円
	第一種(通常) 2kgまで 2,010円
	第一種(通常) 4kgまで 320円
速達	第一種(速達) 50gまで 180円
規格外	第一種(速達) 100gまで 63円
特定記録	旧千畑管内 63円
	旧六郷管内 63円
	旧仙南管内 63円
	美郷町外 63円

全庁で生じていた郵便物の集計はいまや職員1人の短時間作業に

あらゆる自治体で発生する、郵便物の発送業務。長年行われてきた日常業務ではあっても、職員のマンパワーが不足するなかで、「差出票」の作成を含む郵便物の集計作業を負担に感じている自治体も少なくない。こうしたなか、美郷町(秋田県)では、この集計作業を自動化する機械を導入し、全庁的な業務効率化につなげている。取り組みの詳細について、同町総務課の高橋氏に聞いた。



美郷町 総務課 総務班長 高橋 晋一 たかはし しんいち

集計作業の自動化には 明確な費用対効果が見込めた

美郷町ではどのように郵便発送業務を行っていましたか。

各課の職員が郵便物を総務課にもち込み、それを総務課の職員が「差出票」とともに郵便局員に手渡していました。より詳しく言うと、各課の担当者は総務課にもち込む前に、郵便物の重量を1通ごとに量り、料金別の郵便物の数を記載した集計票を作成していました。その集計票の内容と実際の郵便物を、総務課の会計年度任用職員が突合したうえで、1枚の「差出票」にまとめていたのです。単純作業ではありませんが、昨年以降は、コロナ禍を背景に新たな業務が全庁的に増えたため、職員がこれらの集計作業に感じる負担は大きくなっていました。

実際、作業にはどのくらい時間を

がかかっていたのでしょうか。

総務課では約2時間、郵便物が多いときは半日かかることもありましたが。各課でも普段、30分程度かかっていたそうです。そのため、「全庁的に生じるこの煩雑な作業を効率化できないか」と考えていたのです。そうした折に、一連の集計作業を自動化する「郵便料金計器」の存在を知り、導入を検討しました。特にピツニーボウズ製の機械は、自治体での導入実績が豊富なため、「我々の町でも活用できるのでは」と期待しました。日々の集計作業にかかる人件費と機械の賃借料を比べると、明確な費用対効果が見込めたため、導入に向けた予算化はスムーズに進みました。検討開始から1年後の今年6月には「郵便料金計器」を導入することができました。

導入によってどのような成果を得られましたか。

支援企業の視点

郵便物にまつわる多くの業務は自動化により一挙に改善できる

郵便物の集計作業を自動化する自治体は増えていきますか。

当社の「郵便料金計器」だけでなく、令和2年度の導入数は89台にのぼり、3年前と比較して約6倍に増えています。その背景には、職員のマンパワー不足や、コロナ禍による業務負担の増大があり、業務効率化を実現する有効な手段として、「郵便料金計器」が注目されているのです。特に当社の製品は、郵便物の発送にまつわるさまざまな業務を一挙に効率化できる豊富な機能が、多くの導入自治体から高い評価を受けています。

具体的にどのような機能がありますか。

たとえば、毎回の利用時に職員が選択する会計科目を自動集計する機能があります。これにより、総務課は毎月の経費処理において、科目ごとに料金を確認する手間を減らすことができます。日々の利用時に会計科目を選択する際には、科目ごとに用意したバーコード付きのカードを専用のリーダーで読み込む

ことで、タッチパネル操作による選択ミスを防げます。これらの機能により、自治体はさまざまな郵便発送業務を、手早く、正確に行えるようになるのです。自治体に対する今後の支援方針を聞かせてください。

当社は、全都道府県にパートナー会社を配置するといった充実したサポート体制も強みです。コロナ禍においては、オンラインによる機械の実演デモも多数実施しており、遠隔でも詳細な提案が可能です。郵便発送業務にお困りの自治体のみならず、ぜひ、お気軽にお問い合わせください。



ピツニーボウズジャパン Sending Technology ソリューションズ営業本部 東日本営業2部 仙台営業所 佐野 将士 さのしょうじ 昭和49年、岩手県生まれ。平成9年に愛知工業大学を卒業後、家庭用品の商社に入社。その後、平成12年に、ピツニーボウズジャパン株式会社に入社。平成31年より現職。東北エリアの事業拡大を担う。

問い合わせ先 ☎0120-00-9537 (平日9:00~17:00)

Webからの問い合わせはこちら <https://www.pitneybowes.com/jp/smb-inquiry/>

※郵便区内特別郵便物：郵便物の宛先や数、重量などの一定条件を満たした場合に料金が割引される制度

ピツニーボウズジャパン株式会社 設立/昭和56年1月 資本金/4億円 従業員数/135人(令和3年3月1日現在) 事業内容/郵便と小包の発送業務の効率化およびデジタルトランスフォーメーションの分野における、製品・ソリューション、サービスの提供 URL/<https://www.pitneybowes.com/jp/>

※このページは「自治体通信」32号(2021年8月号)から抜粋したものです。

【美郷町】 ■人口：1万7,779人(令和3年5月末現在) ■世帯数：6,604世帯(令和3年5月末現在) ■予算規模：147億3,676万4,000円(令和3年度当初) ■面積：168.32km² ■概要：秋田県の仙北平野南東部に位置し、東は岩手県、南は秋田県横手市、北と西は大仙市にそれぞれ接している。町の西側は、豊かな土壌に恵まれた県内有数の穀倉地帯を形成している。町の花であるラベンダーは6月上旬から色つき始め、美郷町のオリジナル品種であるホワイトラベンダー「美郷雪華」をはじめとした、およそ2万株を超える花が辺り一面を覆い尽くす。

- 防災・危機管理
- 観光・商工
- 健康福祉
- 総務・人事
- 情報政策
- 公共インフラ・まちづくり
- 住民生活・安全
- 環境・エネルギー
- 学校教育・生涯学習
- 税務・収納
- 広報・広聴
- 議会
- 農林水産
- 産業振興



郵便関連業務の効率化

郵便物の集計作業を自動化し 関連業務を一挙に省力化できた

あらゆる自治体が日々発送する郵便物をめぐっては、「差出票」の作成や切手の管理といった、時間や手間がかかる業務が多い。これに対し、玉城町(三重県)は、「郵便料金計器」と呼ばれる機械を早くから活用することで、さまざまな関連業務の省力化を実現している。取り組みの詳細について、同町総務政策課の2人に聞いた。



尾中 亮太
おなかりょうた
総務政策課 主事



中村 修穂
なかむら しゅうすい
総務政策課 行財政係長

20分程度の単純作業 他市では1日がかかりと知る

現在、玉城町ではどのように郵便物の発送業務を行っていますか。
尾中 各課から集まった郵便物を出納室の職員が集計し、集荷に来る郵便局員に手渡ししています。出納室での集計作業は、「郵便料金計器」と呼ばれる機械に通すだけであり、普段ならば20分程度で完了します。当町がこの機械を導入したのは平成25年で、我々は集計を手作業で行ったことがあります。が、かつての担当者に話を聞くと、

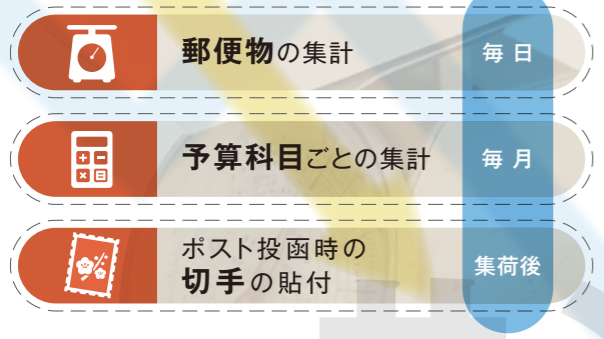
「郵便料金計器」の活用により職員業務負担が軽減されているかを知りました。

以前はどのように郵便関連業務を行っていたのでしょうか。

尾中 担当者は、郵便物の重さを1通ごとに量ったうえで、郵便物の数と料金を「差出票」にまとめ、郵便局にもちこんでいたようです。郵便局に出向いた際も、郵便局員が差出票の内容と実物を確認するのを待ち、集計ミスがあれば修正のために庁舎へ戻ることもあったそうです。このほか、手作業で集計を行っている近隣の市からは、集計作業に担当者が1日つきっきりになっているという話を聞いたこともあります。

中村 「郵便料金計器」は郵便物を計測すると同時に、郵便局から承認を得た印影と郵便料金を印字します。そのため、差出票の作成が不要になり、一連の業務負担を大幅に低減できるのです。当町が導

玉城町が「郵便料金計器」の活用で 省力化を実現した3つの作業



各課に対する支払い依頼も予算ごとの集計が不要に
——たとえば、こういった業務が省力化されているのですか。
中村 各課に対する毎月の郵便料金支払い依頼に手間がかからなくなり、以前は、日々の差出票をもとに、30ほどある予算科目

別に料金を集計し直し、その内容を各課に通知していました。ピツニーボウズ製の「郵便料金計器」では、日々の集計時に予算科目を選んでおけば、支払い依頼の際にそのデータをPCに取りこみ、各課にそのまま転送するだけで済むのです。

尾中 集荷後のポスト投函もラクになったと聞きます。「郵便料金計器」に通した郵便物は切手を貼る必要がないので、集荷時間を過ぎた後の郵便物は機械を通して投函するだけで済み、切手を管理する手間も軽減されています。

郵便関連業務の効率化をめぐる今後の方針を聞かせてください。
尾中 ピツニーボウズジャパンからは、郵便物の封入や封かんを自動化する機械もあると聞いています。庁内には、職員が手作業で封入封かんを行っている業務が複数あるため、費用対効果をみながら、導入を検討したいですね。
中村 郵便物の発送をめぐっては、効率化の余地が大きな業務が多いと実感しています。省力化できる業務を可能な限り機械に任せ、職員がコア業務に充てる時間を捻出していきたいです。

支援企業の視点

郵便物集荷の完全廃止に備え いまこそ集計作業の自動化を

「郵便料金計器」を導入する自治体は増えていますか。

当社の製品だけでなく、令和2年度の導入数は89台にのぼり、3年前の約6倍に増えています。その背景のひとつには、日本郵便による法人向け集荷の廃止があります。これにより自治体職員は、郵便物を集計した後、もちこんだ先の郵便局で「差出票」と実物の確認を待つ必要が生じているのです。現在はまだ一部の郵便局が集荷を継続していますが、今後はすべての自治体の職員が郵便物をもちこむことになるでしょう。そのため、庁内における郵便物の集計を自動化し、郵便局での確認も不要となる「郵便料金計器」に、いま注目が集まっています。また、当社の「郵便料金計器」の場合、「郵便区内特別郵便物」制度を適用する場合の集計作業で、メリットを感じてもらえるケースが多いです。

郵便料金計器では、郵便物の重量が事前に設定した数値を超えるると集計を自動停止する機能があります。これにより、1g単位の正確な集計が行え、修正の手続きにかかるムダを省けるのです。最近では、1g単位で郵便物の数をレポートとしてまとめられる機能も追加しました。

当社は「郵便料金計器」のほか、紙折りや封入、のりづけを自動化する「封入封かん機」という機械も提供しています。郵便業務に関するさまざまな課題に対して、幅広い提案が可能です。ので、関心のある自治体のみならずはお気軽にご連絡ください。



島津 良明
しまつ よしあき
ピツニーボウズジャパン
Sending Technology
ソリューションズ
営業本部 西日本営業部 次長

昭和42年、愛知県生まれ。平成3年、関西学院大学を卒業後、ピツニーボウズジャパン株式会社に入社。大阪支店勤務を経て、現在は名古屋支店に勤務。西日本エリアにおける、郵便料金計器や封入・封かん機の営業を担当。

問い合わせ先 0120-00-9537 (平日9:00~17:00)
Webからの問い合わせはこちら <https://www.pitneybowes.com/jp/smb-inquiry/>

※郵便区内特別郵便物：郵便物の宛先や数、重量などの一定条件を満たした場合に料金が割引かれる制度

ピツニーボウズジャパン株式会社 設立/昭和56年1月 資本金/4億円
従業員数/135人(令和3年3月1日現在) 事業内容/郵便と小包の発送業務の効率化およびデジタルトランザクションの分野における、製品・ソリューション、サービスの提供 URL/<https://www.pitneybowes.com/jp/>

【玉城町】 ■人口：1万5,353人(令和3年7月31日現在) ■世帯数：5,844世帯(令和3年7月31日現在) ■予算規模：113億1,069万4,000円(令和3年度当初) ■面積：40.91km² ■概要：三重県南部、南勢地域(伊勢・志摩)に含まれる。伊勢と京の都を結ぶ初瀬街道や、和歌山県熊野本宮への参詣道である熊野街道が往来し、古くから宿場町として栄えた。昭和30年に田丸町、東外城田村、有田村が合併して玉城町が誕生。翌年に下外城田村を編入した。町役場を含む複数の公共施設は、延元元年(1336年)に北畠親房・北畠顕信親子が築いた田丸城跡に建てられている。



- 防災・危機管理
- 観光・商工
- 健康福祉
- 総務・人事
- 情報政策
- 公共インフラ・まちづくり
- 住民生活・安全
- 環境・エネルギー
- 学校教育・生涯学習
- 税務・収納
- 広報・広聴
- 議会
- 農林水産
- 産業振興